

仕様比較表		形名	MELSEC-AnSシリーズ	MELSEC-Qシリーズ	
			A1S68TD	Q68TD-G-H02	Q68TD-G-H01
入力温度			0~1700℃	-270~1820℃	
出力	温度変換値		16ビット符号付バイナリ (0~17000:小数点以下第1位までの値×10)	16ビット符号付バイナリ (-2700~18200:小数点以下第1位までの値×10)	
	スケール値		16ビット符号付バイナリ (0~2000)	16ビット符号付バイナリ	
熱電対準拠規格			JIS C 1602-1981	JIS C 1602-1995、IEC 60584-1 (1995)、IEC 60584-2 (1982)	
使用可能熱電対と変換精度			次頁表参照	次頁表参照	
冷接点補償精度			±1.0℃		
総合精度			変換精度+(温度特性×使用周囲温度変化)+冷接点補償精度		
分解能			B、R、S:0.3℃ K、E、J、T:0.1℃	B、R、S、N:0.3℃ K、E、J、T:0.1℃	
変換速度			400ms/8チャンネル	640ms/8チャンネル	320ms/8チャンネル
温度入力点数			8チャンネル+Pt100冷接点補償/1ユニット		
断線検出			チャンネルごと検出		なし(※1)
絶縁方式	熱電対入力-シーケンサ電源間		トランス絶縁		
	熱電対入力-チャンネル間		トランス絶縁		
	冷接点補償-シーケンサ電源間		非絶縁		
入出力占有点数			32点	16点	
接続方式			20点端子台	40ピンコネクタ	
内部消費電流(DC5V)			0.32A	0.65A	0.49A

※1:Q68TD-G-H01には断線モニタ機能があります。

- (注)3. は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様の制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

使用可能熱電対と変換精度

	MELSEC-AnSシリーズ			MELSEC-Qシリーズ			
	A1S68TD			Q68TD-G-H02 Q68TD-G-H01			
熱電対	測定温度範囲	変換精度 (使用周囲温度25±5℃時)	温度特性 (使用周囲温度変化1℃につき)	測定温度範囲 (※2)	変換精度 (使用周囲温度25±5℃時)	温度特性 (使用周囲温度変化1℃につき)	周囲温度55℃時の 最大温度誤差
B	—	—	—	0~600℃	(※3)	(※3)	(※3)
	—	—	—	600~800℃	±3.0℃	±0.4℃	±13.0℃
	800~1700℃	±2.5℃	±0.4℃	800~1700℃	±2.5℃	±0.4℃	±12.5℃
	—	—	—	1700~1820℃	(※3)	(※3)	(※3)
R	—	—	—	-50~0℃	(※3)	(※3)	(※3)
	—	—	—	0~300℃	±2.5℃	±0.4℃	±12.5℃
	300~1600℃	±2℃	±0.3℃	300~1600℃	±2.0℃	±0.3℃	±9.5℃
	—	—	—	1600~1760℃	(※3)	(※3)	(※3)
S	—	—	—	-50~0℃	(※3)	(※3)	(※3)
	—	—	—	0~300℃	±2.5℃	±0.4℃	±12.5℃
	300~1600℃	±2℃	±0.3℃	300~1600℃	±2.0℃	±0.3℃	±9.5℃
	—	—	—	1600~1760℃	(※3)	(※3)	(※3)
K	—	—	—	-270~-200℃	(※3)	(※3)	(※3)
	—	—	—	-200~0℃	±0.5℃または測定温度の ±0.5%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の ±0.2%のいずれか大きい方	±11.0℃
	0~1200℃	±0.5℃または測定温度の ±0.25%のいずれか大きい方	±0.07℃または測定温度の ±0.02%のいずれか大きい方	0~1200℃	±0.5℃または測定温度の ±0.25%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の ±0.02%のいずれか大きい方	±9.0℃
	—	—	—	1200~1370℃	(※3)	(※3)	(※3)
E	—	—	—	-270~-200℃	(※3)	(※3)	(※3)
	—	—	—	-200~0℃	±0.5℃または測定温度の ±0.5%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の ±0.15%のいずれか大きい方	±8.5℃
	0~800℃	±0.5℃または測定温度の ±0.25%のいずれか大きい方	±0.07℃または測定温度の ±0.02%のいずれか大きい方	0~900℃	±0.5℃または測定温度の ±0.25%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の ±0.02%のいずれか大きい方	±6.75℃
	—	—	—	900~1000℃	(※3)	(※3)	(※3)
J	—	—	—	-210~-40℃	(※3)	(※3)	(※3)
	0~750℃	±0.5℃または測定温度の ±0.25%のいずれか大きい方	±0.07℃または測定温度の ±0.02%のいずれか大きい方	-40~750℃	±0.5℃または測定温度の ±0.25%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の ±0.02%のいずれか大きい方	±5.625℃
	—	—	—	750~1200℃	(※3)	(※3)	(※3)
T	—	—	—	-270~-200℃	(※3)	(※3)	(※3)
	—	—	—	-200~0℃	±0.5℃または測定温度の ±0.5%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の ±0.1%のいずれか大きい方	±6.0℃
	0~350℃	±0.5℃または測定温度の ±0.25%のいずれか大きい方	±0.07℃または測定温度の ±0.02%のいずれか大きい方	0~350℃	±0.5℃または測定温度の ±0.25%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の ±0.02%のいずれか大きい方	±2.625℃
	—	—	—	350~400℃	(※3)	(※3)	(※3)
N	使用不可			-270~-200℃	(※3)	(※3)	(※3)
	使用不可			-200~0℃	±0.5℃または測定温度の ±0.5%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の ±0.2%のいずれか大きい方	±11.0℃
	使用不可			0~1250℃	±0.5℃または測定温度の ±0.25%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の ±0.02%のいずれか大きい方	±9.375℃
	使用不可			1250~1300℃	(※3)	(※3)	(※3)

※2:記載された測定温度範囲外の値が熱電対より入力された場合は、測定温度範囲の最大値/最小値として扱います。

※3:温度測定はできるが、精度の保証はできません。

●プログラム上の注意

- A1S68TDとQ68TD-G-H02/Q68TD-G-H01では、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリアドレスの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。
- A1S68TDに対してQ68TD-G-H01は変換速度が速くなります。このため、A1S68TDでは取込まなかったノイズをQ68TD-G-H01ではアナログ信号として取込む可能性がある。このような場合は、平均処理機能を使用しノイズの影響を除去してください。
- A1S68TDにおいてディップスイッチで設定していた熱電対タイプは、Q68TD-G-H01/A68TD-G-H02では、インテリジェント機能ユニットスイッチ設定で行います。